

令和5年度当初予算編成方針

1 統一地方選挙を控えたいわゆる「骨格予算」の編成

○原則、政策的な新規事業は選挙後の補正予算（「肉付け予算」）において計上

○ただし、以下の事業については当初予算に計上

- ・令和6年春の北陸新幹線福井・敦賀開業に向けた「機運醸成」「プロモーション」「おもてなし」など、年度当初から準備が必要な事業

2 予算要求における主なポイント

○「ポストコロナ」「物価高騰」等の環境下において、国の予算編成の動向など、情報収集・分析を徹底

○市町や業界等と意見交換を行うとともに、県内経済の情勢を注視し、的確に反映

○財源の確保に一層努めるとともに、徹底したスクラップ&ビルドを実施

○「データ分析や客観的な情報に基づく政策立案（EBPM）」を推進

【要求基準の設定】

- | | | |
|-----------|-------------------------|----------|
| (1) 経常的経費 | 100%以内 | <6月補正含む> |
| (2) 政策的経費 | 90%以内 | <6月補正含む> |
| (3) 投資的経費 | 70%以内（補助公共）、50%以内（県単公共） | <当初> |

※公共事業について6月補正編成時に改めて要求基準を設定

※「重点政策要求枠」を設定（シーリング削減額の2倍の予算要求が可能）

【当初および6月補正予算に計上】**継 続**

※北陸新幹線開業に向け、「道路舗装」「交通安全施設の更新」「観光案内看板の整備」「河川の伐木」等について「新幹線開業に向けた環境改善対策枠」を創設

【当初予算に一括計上】**新 規**